

第4章 財政収支の見通し

今後の本市の状況は、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少などにより、歳入の根幹となる市税は減少することが見込まれます。また、春日部駅付近連続立体交差事業や北春日部駅周辺地区土地区画整理事業、公共施設の老朽化など多くの大規模事業が控えており、これに伴う財源として、地方債を効果的に活用する必要があります。

一方、歳出では定数管理を行うことで人件費は横ばいとなるものの、急速に進む高齢化などが要因となり扶助費が増加することが見込まれます。また、公債費（市債の償還や利子の支払いに要する経費）は、本庁舎建設に係る償還が始まり今後増加が見込まれます。

このような状況を踏まえ、重点的に実施すべき施策や事業に、行政資源を重点的に投入する「選択と集中」による予算配分を徹底した上で、事業費および事業の実施時期の精査が必要になります。また、国・県支出金や各種交付金を最大限、有効に活用し、後年度の公債費負担を考慮しながら有利な地方債を積極的に活用するとともに、基金を適切に活用することにより、持続可能な財政運営の推進を図ってまいります。

【今後5年間の財政収支の試算（一般会計）】

単位：百万円

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
歳入	市税	29,304	28,816	28,961	29,109	28,983
	国・県支出金	20,339	21,610	21,084	21,478	21,469
	市債	13,230	9,246	11,392	6,845	6,951
	その他	26,827	24,145	24,046	22,834	23,133
	歳入合計	89,700	83,817	85,483	80,266	80,536
歳出	人件費	12,526	12,210	12,358	12,393	12,557
	公債費	7,115	7,105	6,927	7,070	7,310
	扶助費	19,368	20,345	20,451	20,813	21,123
	普通建設事業費	14,833	12,586	12,986	8,379	7,565
	その他	35,858	31,571	32,761	31,611	31,981
	歳出合計	89,700	83,817	85,483	80,266	80,536
収支差額		0	0	0	0	0

※数値は資料作成時点であり、今後、変動することがあります。